



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (6月20日～29日)

1. 自動車輸出台数 (6月20日ドンヤーイエ・エグテサーディー紙)

2013年3月21日～5月21日までの2ヵ月間の自動車輸出台数は、前年同期比84%減の1,006台となった。イラン税関によると、金額ベースでは78.73%減の800万ドル、重量ベースで1,000トンとなっており、1台あたりの金額は39.38%減の7,825米ドルであった。輸出先の84.39%はイラクで、その他、アゼルバイジャン、ウクライナと続く。

2. 医薬品購入のための補助金 (6月20日付イーラーン紙)

厚生省次官は、医薬品価格の高騰対策を目指し、医薬品購入のための補助金として、各家庭に金融支援を行うと述べた。「この政策は現在ヤズドで実証を行っており、近い将来に全国に拡大する」とした。支給される金額については言及されていない。

3. 韓国企業によるイラン企業との取引 (6月22日シャルグ紙)

韓国企業は、制裁下のイラン企業との取引を控え始めており、船社はイランへの運航を停止している。イラン商工鉱農業会議所・輸入担当部長のハリーリ一部長は、現在のイランと韓国間の取引状況について、「韓国におけるイラン産原油の輸入代金の換金が困難となっている決済問題に加えて、勧告製品の輸送問題を抱えている」と述べた。

4. 仏自動車の販売台数 (6月22日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

仏ルノーの2013年5月におけるイランでの販売台数は、前年同期比57.5%減の2,580台となった。世界での販売台数は3.5%の微減である。2013年の5ヵ月間の売り上げは25,482台であり、前年同期比38.7%減となった。

5. グルジア政府によるイラン企業関連口座凍結 (6月22日付シャルグ紙)

グルジア政府は、国連制裁に従う形で、イラン・ビジネスおよびイラン企業に関連する約150の銀行口座を凍結したと発表した。

6. リヤールの上昇 (6月25日付イラン・デイリー紙)

イラン・リヤール貨は、6月14日に行われたイラン大統領選挙にて、ロウハーニー候補が勝利をおさめた後から15%上昇した。ロウハーニー候補は「国際社会からの制裁を弱め、イラ

ン経済を立て直すべく努力する」と述べていた。6月13日に1米ドル=36,250リヤールをつけていたが、6月24日には1米ドル=31,500リヤールまで上昇した。

#### 7. 米国からの輸入増加（6月25日付ドンヤーイエ・エグテサード紙）

2013年3月21日～5月21日の2ヵ月間において、イランは米国から重量ベースで約4,000トン、金額ベースで1,860万米ドルもの商品を輸入した。前年同期比で見ると、それぞれ、125%増、11%増となっている。バター、食料品、医薬品が主な輸入品である。

#### 8. インフレ率（6月27日付イーラーン紙）

イラン統計センター発表のデータによると、2013年5月22日～6月21日における年間インフレ率は32.6%となった。イラン中央銀行のバフマーニー総裁は、債権や金貨の販売により流動性を低下させるインフレを収束させたいと述べた。

#### 9. 対外債務の現象（6月29日付ケイハーン紙）

イラン中央銀行のバフマーニー総裁は、「イランにおける対外債務は直近で420億米ドルから350億米ドルまで減少した。イラン中央銀行は金を購入してきたが、国際価格の高騰により、その金の価値が向上したことで、わが国に利益をもたらした」と述べた。

#### 10. イラン・パキスタン・ガスパイプライン（6月29日付ドンヤーイエ・エグテサード紙）

パキスタンのエネルギー専門家は、イラン・パキスタン（IP）ガスパイプラインの早期完成の必要性を強調し、「IPガスパイプライン計画は、パキスタン経済の生命線であり将来である。発電コストを下げる目的からも、イラン産天然ガスの輸入は、パキスタンにとって高い戦略性を有する」と述べた。

#### 11. LPGの輸出再開（6月29日付イーラーン紙）

韓国から4ヵ月遅れて、中国もイラン産LPGの輸入を再開した。韓国は本年初頭にLPG輸入を再開、月間平均7億トンのLPGを購入している。海外メディアの報告によると、イランから積み込んだ3億3,000トンのプロパンと1億1,000トンのブタンを乗せた船が中国寧波港に着眼している。